

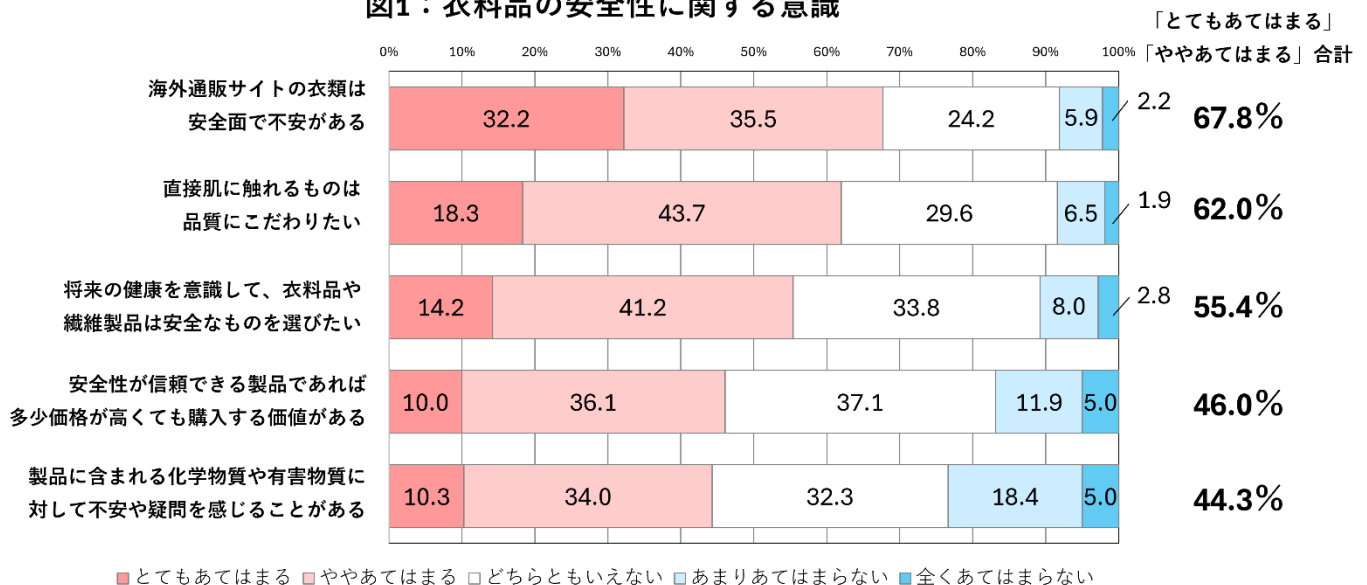
第三者試験機関が生活者 1,030 人に調査

衣料品の安全性不安と品質重視の意識、全国調査で改めて明らかに 海外通販への不安 67.8%、安全性が信頼できれば 46.0%が「多少高くても購入する価値」

アジア地域で唯一の OEKO-TEX®(エコテックス®)認証機関である一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(本部:東京都台東区、理事長:安藤 健、以下:ニッセンケン)は、全国の 20~69 歳の男女 1,030 人を対象に、衣料品・繊維製品の安全性とエコテックス®認証に関する意識調査を実施しました。

調査の結果、「海外通販サイトの衣類は、安全面で不安がある」に「あてはまる」(=「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」)の合計。以下、安全性に関する設問も同様)と回答した人は 67.8%に上りました。また、製品に含まれる化学物質や有害物質に不安や疑問を感じる人は 44.3%、直接肌に触れるものは品質にこだわりたい人は 62.0%でした。衣料品の安全性に対する不安とともに、品質や安全性を重視する生活者の意識が伺えます。

図1：衣料品の安全性に関する意識



設問：衣料品（洋服・下着・パジャマなど）や繊維製品（タオル・寝具など）の安全性に関する意識や行動について、あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれお選びください。

【調査概要】

調査委託先: マクロミル

回答者: 自身の衣料品や繊維製品を自身で選定する 20~69 歳の男女 1,030 人

調査期間: 2026 年 7 月 24 日~同年 7 月 25 日

※数値は小数第 2 位を四捨五入しているため、グラフ内の表示値の合計と、合計値が一致しない場合があります。

調査背景: 越境 EC 市場の拡大と衣料品の安全性

インターネット通販の普及により、生活者は国内外の商品を手軽に購入できるようになりました。経済産業省が 2025 年 8 月に公表した「令和 6 年度電子商取引に関する市場調査」によると、2024 年に日本の消費者が米国・中国の事業者からインターネット通販を通じて購入する「越境 EC」の市場規模は、2023 年の 4,208 億円から 4,410 億円に増加しました。

しかしその一方で、衣料品の安全性は、商品写真や価格だけでは判断ができません。厚生労働省が 2025 年 5 月に公表した[オンライン販売されている家庭用品の試買調査](#)では、繊維製品 105 点を対象としたホルムアルデヒド検査において、乳幼児用のよだれ掛けや衣類など計 4 点で、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づく基準値の超過が確認されました。

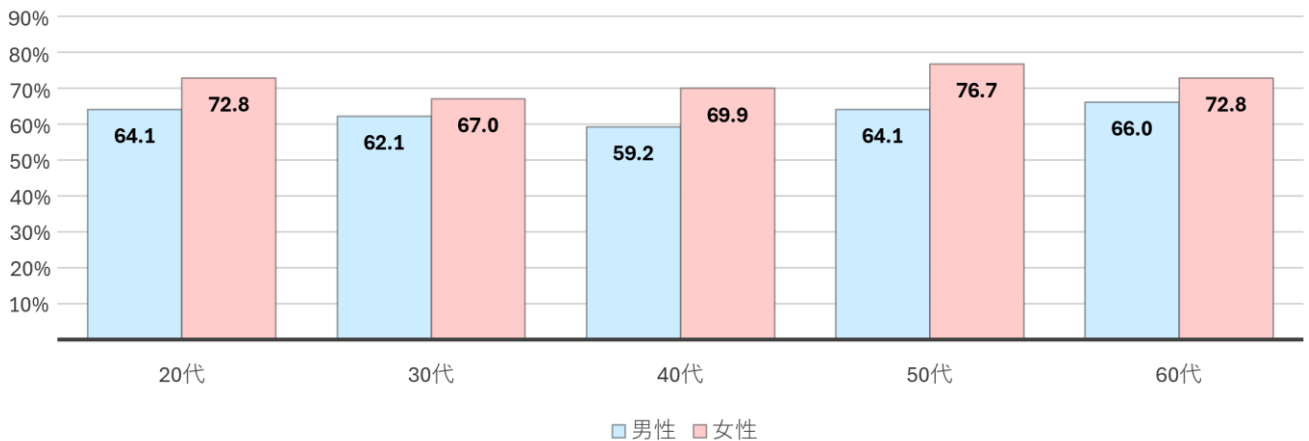
購入先の選択肢が広がる中で、生活者は衣料品の安全性をどのように捉え、商品を選ぶ際に何を重視しているのでしょうか。今回の調査では、こうした生活者の意識を調べました。以下、主な調査結果を 4 つのテーマに分けてご紹介します。

調査結果 1 海外通販サイトの衣類に安全面の不安 67.8% 50 代女性では 76.7%

「海外通販サイトの衣類は、安全面で不安がある」に「あてはまる」とした人は 67.8%で、今回尋ねた衣料品・繊維製品の安全性に関する 7 項目の中で最も高い結果となりました(図 1)。性年代別では女性 50 代が 76.7%で最も高く、次いで女性 20 代と女性 60 代がそれぞれ 72.8%でした(図 2)。

なお、この設問は海外通販の利用経験者だけではなく、本調査の全回答者に尋ねたものです。

図2：海外通販サイトの衣料は、安全面で不安がある 性年代別



設問：衣料品（洋服・下着・パジャマなど）や繊維製品（タオル・寝具など）の安全性に関する意識や行動について、あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれお選びください。

※「海外通販サイトの衣類は、安全面で不安がある」について、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合。
 ※性年代別 WB（ウェイトバック）集計。WB 前 n：各 103。WB 後 n：男性 20 代 74、30 代 86、40 代 117、50 代 104、60 代 95／女性 20 代 78、30 代 97、40 代 132、50 代 124、60 代 121。

調査結果 2 化学物質への不安 44.3% 肌に直接触れるものは品質重視 62.0%

「製品に含まれる化学物質や有害物質に対して、不安や疑問を感じることもある」に「あてはまる」とした人は 44.3%でした。また、「直接肌に触れるものは、品質にこだわりたい」は 62.0%、「将来の健康を意識して、衣料品や繊維製品は安全なものを選びたい」は 55.4%でした。衣料品の安全性について、化学物質への不安だけでなく、肌への接触や将来の健康を意識して商品を選びたいという生活者の意識が伺えます。(図 1)

調査結果 3 46.0%が「安全性を信頼できれば多少高くても購入する価値」

「安全性が信頼できる製品であれば、多少価格が高くても購入する価値がある」に「あてはまる」と回答した人は 46.0%でした。価格だけでなく、安全性を確認することにも価値を見いだす生活者が一定数いることがわかります。(図 1)

※安全性への価値評価に関する意識を尋ねたものであり、実際の追加支払額や購買行動を測定したものではありません。

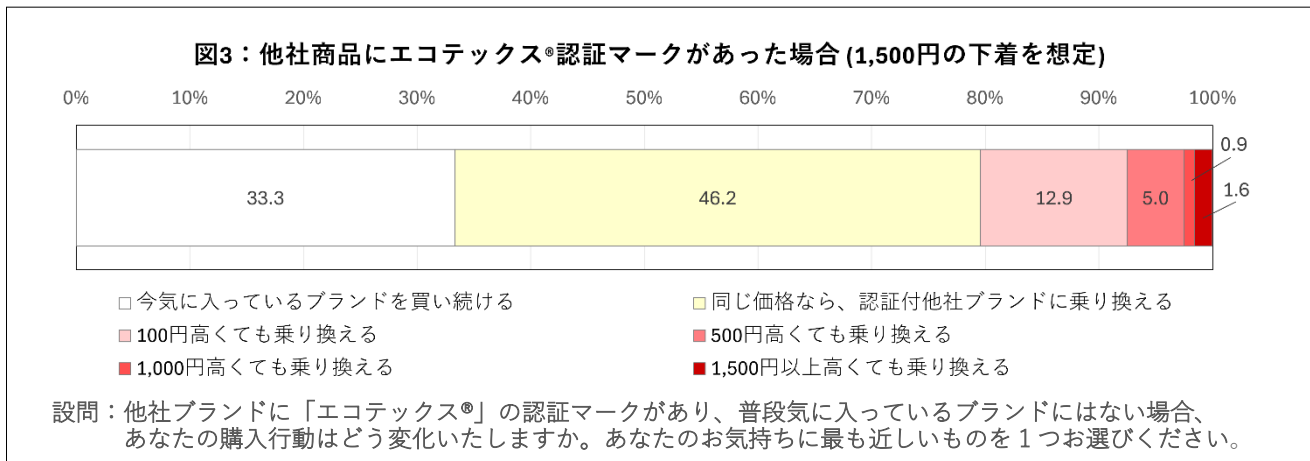
調査結果 4

第三者認証は、商品選択時の判断材料に

— 約 3 人に 2 人が「エコテックス®認証付商品への乗り換え」意向

衣料品・繊維製品に含まれる化学物質の種類や量は、見た目や商品写真、価格だけでは判断できません。製造・販売企業による法令への適合確認や品質管理に加え、第三者機関による試験・認証は、安全性に関する客観的な判断材料となります。

今回の調査では、回答者にエコテックス®認証のコンセプトを説明した後、普段気に入っている 1,500 円の下着には認証マークがなく、他社商品には認証マークが付いていることを想定して購入意向を尋ねたところ、66.7%が認証付商品への乗り換え意向を示しました。第三者認証が商品やブランドを比較する際の判断材料となり得ることが伺えます。(図 3)



OEKO-TEX®(エコテックス®)認証とは — “見えない安全性”を確認するラベル

エコテックス®認証は、繊維・皮革製品の安全性や、環境・社会に配慮した生産体制などを対象とする国際的な認証です。1992年に設立され、独立した試験・研究機関によって運営されています。ニッセンケンには、アジア地域で唯一のエコテックス®認証機関です。



代表的な認証である「エコテックス® スタンダード 100」は、1,000種類以上の有害化学物質を対象とする厳しい分析試験にクリアした製品だけに与えられる世界最高水準の安全な繊維製品の証です。日本はもちろん、欧米やアジア諸国など多くの国に対応する国際的な安全基準であり、肌に直接触れる機会が多い製品や、乳幼児向けの製品ほど厳しい基準が適用されます。

認証ラベルの有効性は、[公式ウェブサイト](https://nissenken.or.jp/)の「[ラベルチェック](#)」でご確認いただけます。

一般財団法人ニッセンケン品質評価センターとは

ニッセンケンは、1948年の設立以来、繊維製品を中心とした「試験・検査」を通じて、製品の安全性や機能性を評価し、日本と世界のものづくりを支えてきました。繊維関連の各種試験に加え、抗菌・抗ウイルス・消臭などの機能性試験、化学分析試験、海外市場への進出支援、さらには品質やサステナビリティを軸にしたブランディング支援まで、幅広い領域に対応。「品質課題のソリューションパートナー」として、企業や製品の新たな価値創出を支援しています。

公式ウェブサイト：<https://nissenken.or.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
 ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部
 E-mail : oekeo-tex@nissenken.or.jp